

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No354

(企画特別部会第12回 論点整理(素案)より)

主体的に学習に取り組む態度は「学びに向かう力・人間性」
としてますますその重要性が示される？
ー30年の主体性施策を無駄にするなー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

No346

次期学習指導要領改訂に向けた審議(中間まとめ) に対する所見を5点述べます

溝上 慎一
(桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授)

動画チャンネル「溝上 慎一の教育論」

教育課程企画特別部会

論点整理 (素案)

令和7年9月5日
中央教育審議会
教育課程企画特別部会

学びに向かう力、人間性等の今後の整理イメージ

【現行の記述】

小学校学習指導要領総則解説（抜粋）

児童が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる「学びに向かう力、人間性等」は、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素である。

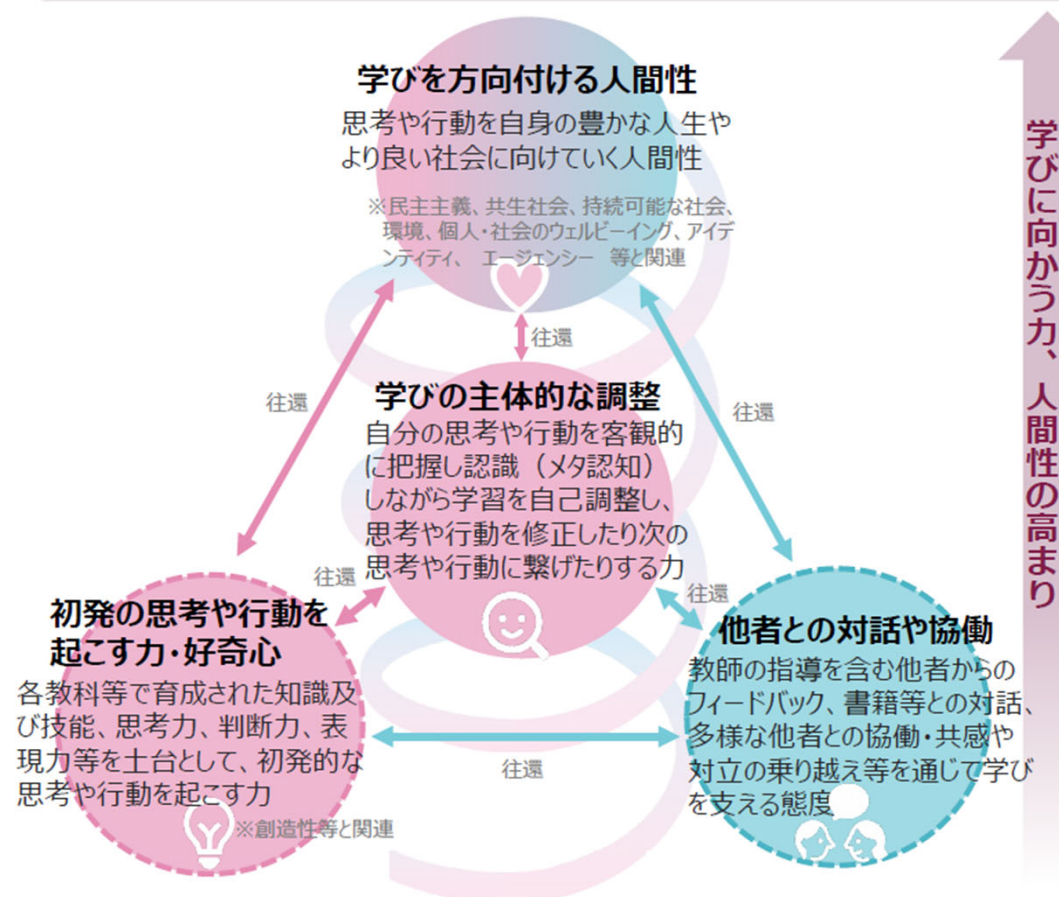
（中略）

児童一人一人がよりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくためには、主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要となる。これらは、自分の思考や行動を主体的に学習に取り組む態度も含めた学び客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力を含むものである。こうした力は、社会や生活の中で児童が様々な困難に直面する可能性を低くしたり、直面した困難への対処方法を見いだしたりできるようにすることにつながる重要な力である。

また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含まれる。

【今後の整理イメージ】

変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力を育む

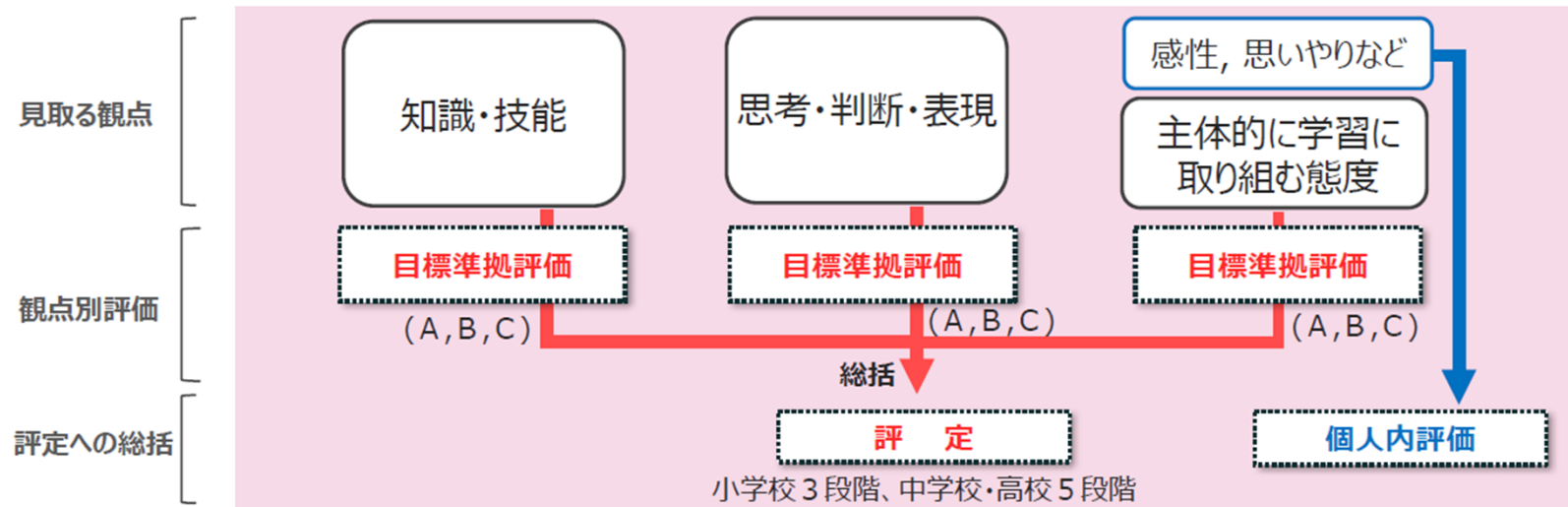


※「初発の思考や行動を起こす力」と、「学びの主体的な調整」「他者との対話や協働」との往還を通じ、粘り強く継続的に思考・行動する経験が繰り返され、「学びに向かう力、人間性等」が育まれる

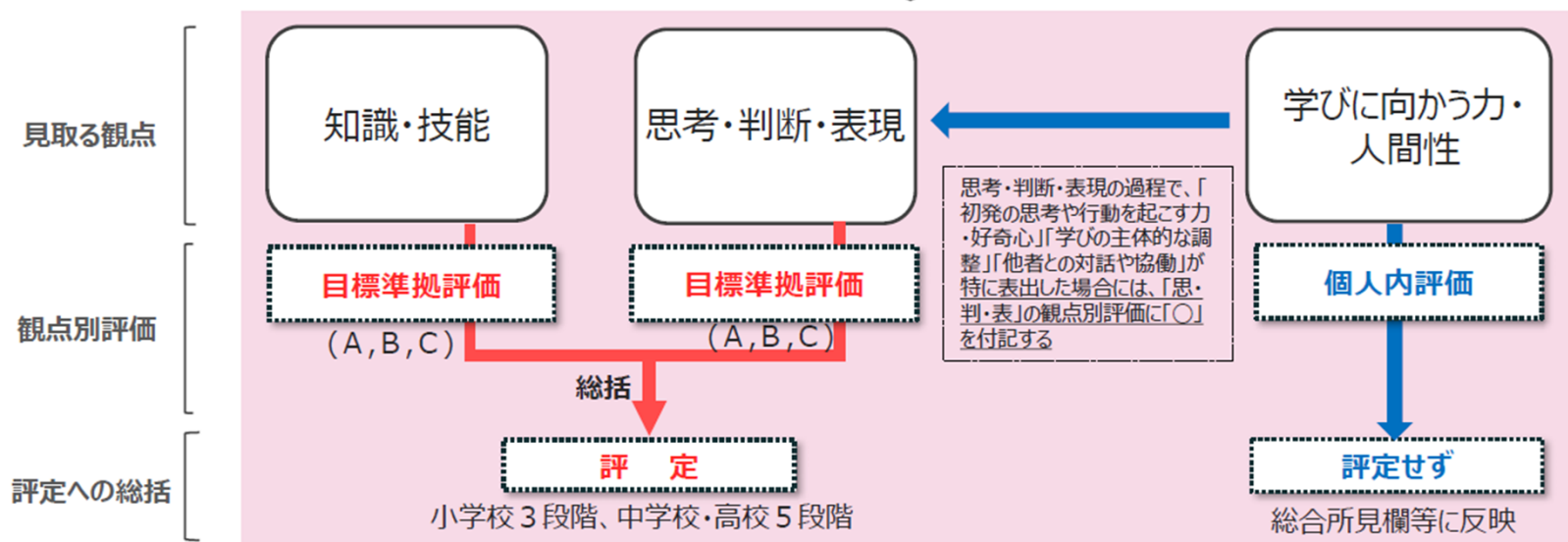
新たな観点別評価の方向性イメージ

補足イメージ6-②

旧



新



文科省の主体性施策30年

- 平成元年学習指導要領改訂（1989年）

新しい学力観、**関心・意欲・態度**

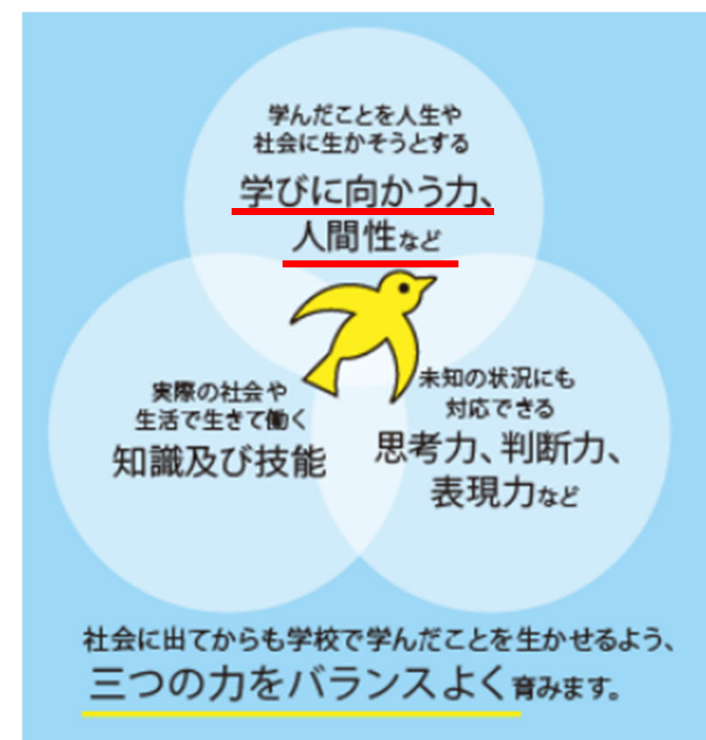
- 学校教育法改正（2007年）

第30条2項

- (1) 基礎的な知識・技能
- (2) 思考力・判断力・表現力等
- (3) **主体的に学習に取り組む態度**

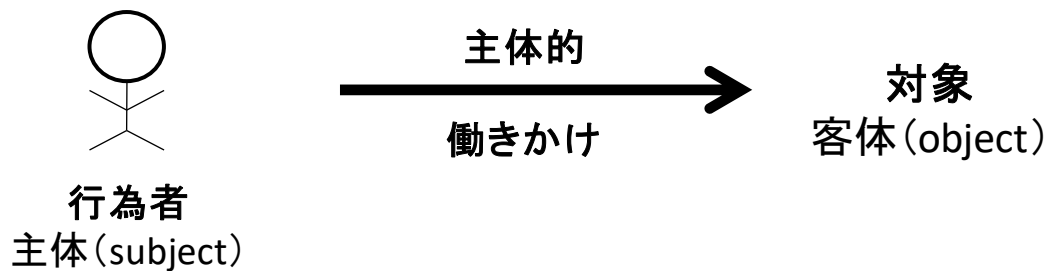
- 平成29-30年学習指導要領改訂

資質・能力の三つの柱、**学びに向かう力・人間性等**
＞**主体的に学習に取り組む態度**

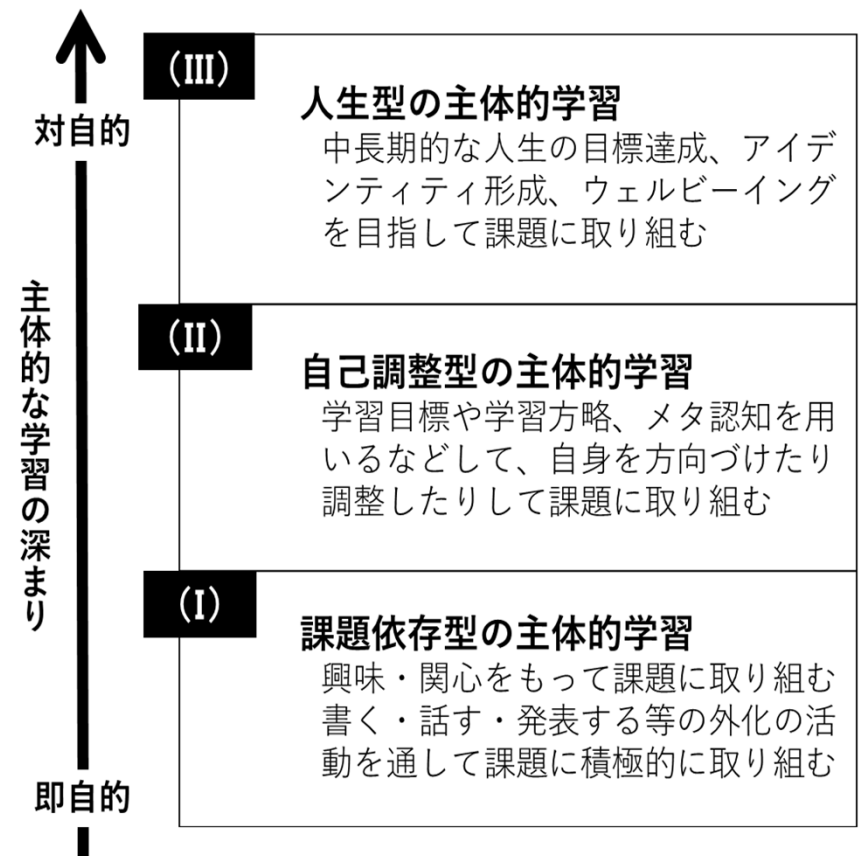


主体的な学習とは

「行為者（主体）が対象（客体）にすすんで働きかけるさま」（『日本国語大辞典（第2版）』）



＜主体的な学び＞（現行の学習指導要領）
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動をふり返って次に繋げる学び。



・ 溝上慎一（2020）．社会に生きる個性—自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシー— 東信堂



Benesse 『VIEW next online』 REPORT (2025年9月4日)

田村学 (文部科学省初等中等教育局 主任視学官)

「育成や評価の重要性が一層高まる「主体的に学習に取り組む態度」」



ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

